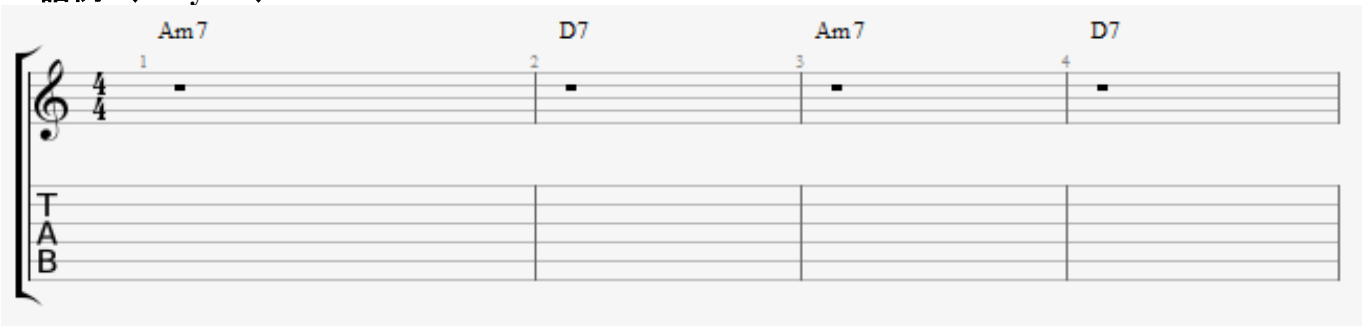
Vol.74　1 つのコード上で演奏アイディアがどれだけ出せるか　～その 2～

『10 分トレ』vol.74、始めていきましょう。

前回に引き続き、「アイディア出し」的なトレーニングを行います。

今回は、以下の様な進行で考えてみましょう。

譜例 1、key=G、Am7→D7

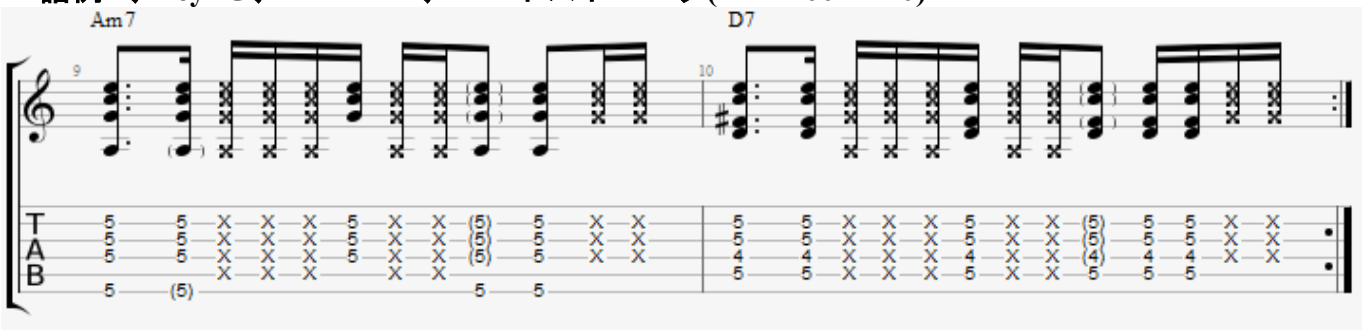


進行としては A ドリアン的なものですね。

実際の演奏では、他パートとの兼ね合いもありますが、とりあえずここではギタープレイのパターンをどれだけ出せるか？と言う事を主題とします。

と、言う事で、まずは、おそらく最初に出てきそうなストロークのパターンがこちらです。

譜例 2、key=G、Am7→D7、コードストローク(BPM100～120)



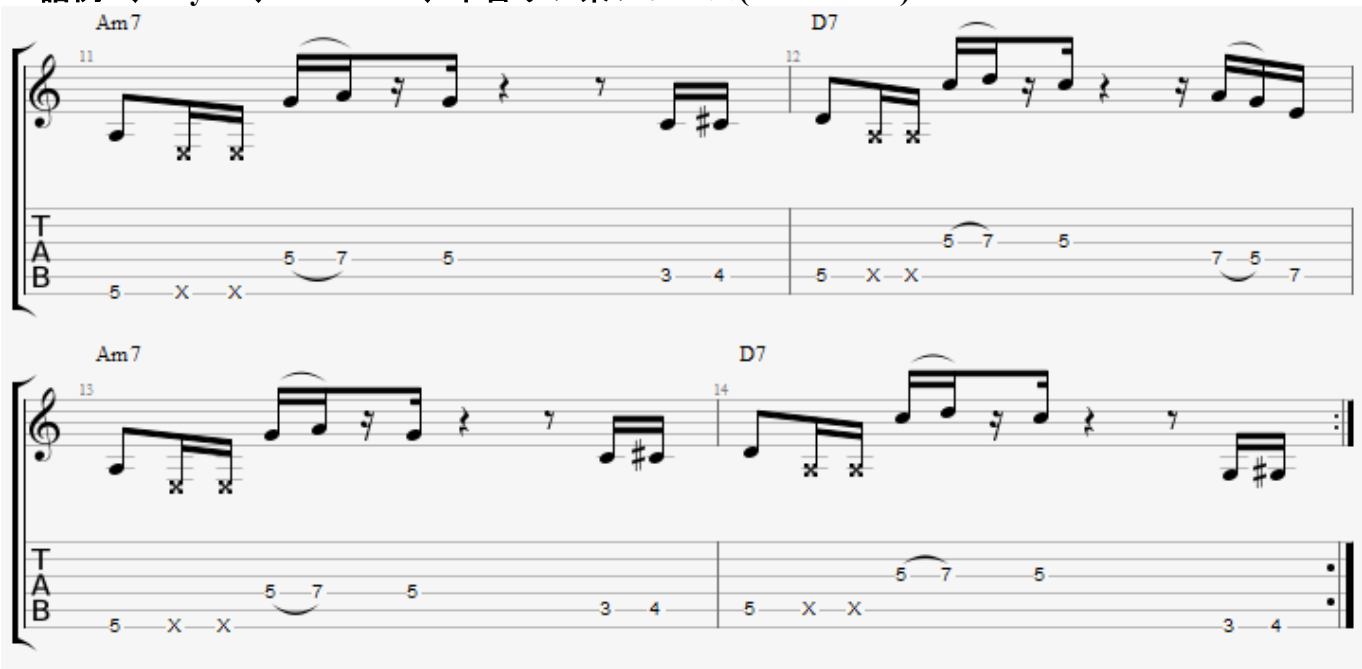
この手のフレーズは、ベース音をどの位置でどの位鳴らすのか？を、ベースパートを聴きながら考えていくのですが、今はギターのみで練習しているので、上記の様なイメージで鳴らしてみると良いでしょう。

後は、ピッチを出す場所とブラッシングをする場所も、実際はドラムなどを聴きながら調整していく事になりますね。

その辺りは臨機応変に対応していきましょう。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

譜例 3、key=G、Am7→D7、単音リフ系フレーズ(BPM120～)



続いて単音系のフレーズです。

どちらかと言うとベースラインっぽいですが、楽曲のイントロなどでギター単体でこの様な導入をしたりもしますね。

ポイントとしては、偶数小節の終りなどの、次のアタマに戻る時に少し動きを付けたりすると面白さが出てきます。

この譜例で言えば、2 小節目と 4 小節目の終わりのパターンを変えていますが、この辺りのフィルイン的なフレーズを、音程的に下げるのか？上げるのか？、派手にするのか？地味にするのか？など、色々なパターンを考えてみましょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved